

# 第53期 中間報告書

2024年4月1日▶2024年9月30日

証券コード：4323

日本システム技術株式会社  
Japan System Techniques Co., Ltd.

## TOP MESSAGE



代表取締役社長  
平林 武昭

### これまでの経験と実績を基に、 さらなるイノベーションと価値創造を追求します

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに、第53期中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の業績をご報告申し上げます。

当社グループの業績は、売上高132億6千万円(前年同期比9.3%増)、営業利益10億45百万円(前年同期比4.2%増)、経常利益10億77百万円(前年同期比6.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益6億71百万円(前年同期比3.2%増)となりました。各事業セグメントの概況につきましては、中面にて記載しておりますので、ご一読いただけますと幸いです。

当社は新たな挑戦と成長のステージに進む決意をしております。デジタル技術を活用して、企業の生産性を大きく向上させる「DX」<sup>※1</sup>、IT技術の支援によって社会全体の持続可能性を高める「SX」<sup>※2</sup>、デジタル技術を活用して組織運営を変革する「MX」<sup>※3</sup>の3つに注力していきます。これらの変革は、JASTグループ一体で連携し、複合的に推進していきたいと考えております。これまで培ってきた経験と実績を基に、さらなるイノベーションと価値創造を追求し、持続可能な社会の実現に向けて邁進してまいります。今後とも、株主の皆様のご期待に応えるべく、全力を尽くす所存でございますので、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※1 DX(Digital Transformationの略称) ※2 SX(Sustainability Transformationの略称)  
※3 MX(Management Transformationの略称)

## 連結財務ハイライト

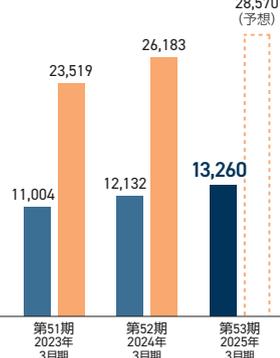
### 決算 Point

DX&SI事業、パッケージ事業が業績を牽引し、増収増益となりました。

### 売上高

13,260百万円

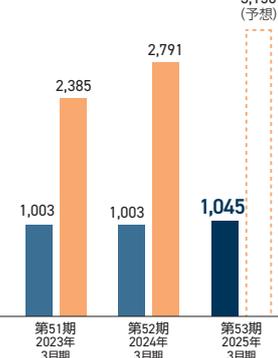
■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)



### 営業利益

1,045百万円

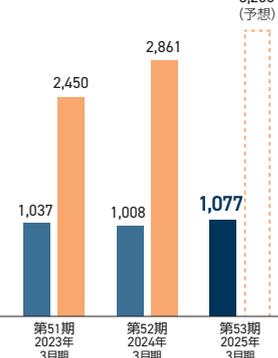
■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)



### 経常利益

1,077百万円

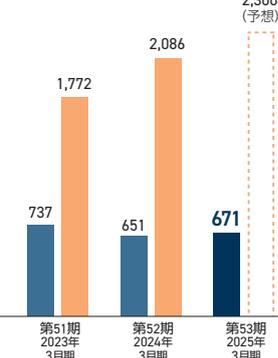
■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)



### 親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益

671百万円

■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)



# セグメント概況

JASTは、デジタルトランスフォーマーの先駆けとしての実績をふまえ、あらゆる分野のお客様の事業変革を支援し、新しい価値を共創します。

## DX&SI事業

### 「SI」「ソリューション」「サービス」を通じ共創DXを推進

#### 事業紹介

多彩なシステムの受託開発を担う「SI」、研究開発力を生かし、多様化する課題に先端技術で応える「ソリューション」、ITシステムの運用保守からクラウドを軸としたITプラットフォームの構築、コンサルティングまで業務革新を幅広く支援する「サービス」の3本柱を通じ、お客様のパートナーとしてビジネスの新しい価値をともに見出す「共創DX」を進めています。

#### 概況

金融・保険・証券業及び通信業、製造業を中心とした大型プライム案件の好調により増収となりました。



売上高  
**8,239**百万円  
[前年同期比] **12.9%** ↑

営業利益  
**1,355**百万円  
[前年同期比] **17.8%** ↑

#### DX&SI事業

売上高構成比 **62.1%**



#### パッケージ事業

売上高構成比 **19.4%**

売上高  
**2,567**百万円  
[前年同期比] **13.8%** ↑

営業利益  
**641**百万円  
[前年同期比] **6.6%** ↑

## パッケージ事業

### パッケージシステムを通じて文教DX、金融DXを推進

#### 事業紹介

大学向け総合パッケージシステム「GAKUEN」シリーズは、全国400以上の大学、短期大学に導入実績がある当社の主力製品です。金融機関向け情報系統合パッケージ「BankNeo」は、30年以上にわたる金融システムの開発ノウハウを生かしてパッケージ化し、ニーズにきめ細かく応えます。自社ブランドのパッケージシステムの開発・販売により、文教DX、金融DXを推進しています。

#### 概況

「GAKUEN」シリーズにおけるEUC（関連システムの個別受託開発）及びPP（プログラム・プロダクト）販売、「BankNeo」におけるPP（プログラム・プロダクト）販売等がそれぞれ増収となりました。

## 医療ビッグデータ事業

### 2つのプラットフォームを土台に保険者DXのトッププレーヤーへ

#### 事業紹介

保険者の業務は、医療費などの支払い、保険証の発行・管理や資格の確認、健康診断の手配など多岐にわたります。JASTはこれら保険者業務を自動化するレセプト・自動点検システム「JMICS」、保険者業務のDXを推進する「iBss」を組み合わせ、医療ビッグデータを利活用した保険者DXのトッププレーヤーを目指し、さらに事業領域を広げ、総合医療DXサービスへの進化を図ります。

#### 概況

レセプト点検サービス及び保険者業務支援サービス、生活保護向けレセプト管理クラウドサービス等の好調により増収となったものの、中長期的成長を見据えた人件費及び戦略投資等の増加により減益となりました。



売上高  
**1,132**百万円  
[前年同期比] **23.5%** ↑

営業利益  
**77**百万円  
[前年同期比] **25.6%** ↓

#### 医療ビッグデータ事業

売上高構成比 **8.5%**

#### グローバル事業

売上高構成比 **10.0%**

売上高  
**1,321**百万円  
[前年同期比] **20.4%** ↓

営業利益  
**△51**百万円  
[前年同期は204百万円]

## グローバル事業

### アジアで展開する企業にDX推進をワンストップでサポート

#### 事業紹介

アジア諸国における40年以上の実績をもとに、ASEAN諸国、中国の主要地域に開発・販売拠点を展開しています。これらのグローバルネットワークを活かして最適なサービスを提供するとともに、ERP製品の導入コンサルティング、クラウド型人事ソリューションの展開など、日系企業はもちろん、多国展開するグローバル企業やローカル企業も含め、DXの推進をワンストップでサポートしています。

#### 概況

マレーシアにおけるSAP導入サポート案件の受注引合いが前年を下回ったことにより減収となりました。

## TOPICS 1

### 沖縄県の陸上養殖ビジネス事業への参入について

当社は、沖縄県における陸上養殖ビジネスの成長へ向けて、Land Aqua Culture Innovation株式会社（以下、LAC社）への出資を実施しました。陸上養殖は、漁獲量制限や気候変動による捕獲魚種の変化など漁業分野の課題に対する解決策として注目を集めています。LAC社は、環境負荷を大幅に削減可能な物理濾過方式を採用した循環型養殖設備を販売しており、当社は沖縄県の地場企業との強固な関係性のもとでICTシステムの構築で貢献し、地方創生や食料不足の解消、環境負荷の低減を目指してまいります。

今後も、海洋資源の持続可能な管理と活用を進めるとともに、陸上養殖技術のさらなる革新を目指し、地域経済の発展に寄与してまいります。また、新たな価値創造に挑み、持続可能な社会の実現に向けて積極的な貢献をしていく所存です。

※日本システム技術株式会社  
プレスリリース2024年7月4日  
[https://www.jast.jp/cms/wp-content/uploads/2024/07/ir\\_notice20240704.pdf](https://www.jast.jp/cms/wp-content/uploads/2024/07/ir_notice20240704.pdf)



## TOPICS 2

### 大学向けアルムナイサービス「ALUPA（アルパ）」提供開始について

当社は、これまで文教業界で培ったノウハウと長年蓄積した情報資産を活用し、学生が大学卒業後もコミュニティを形成でき、学びの機会を得られるアルムナイサービス「ALUPA（アルパ）」の提供を開始しました。

「ALUPA（アルパ）」では、大学は卒業生に対して情報発信ができ、卒業生は近況の報告や同窓イベントの開催通知等の情報を自由に投稿することができます。また、職歴や学歴、資格、保有スキル等の個人プロフィールを登録することができ、その情報をもとに卒業生間の繋がりを形成できます。

今後も継続的にサービス開発を行い、アンケート機能やWEB申請機能等の拡張を計画し、2025年度以降には、デジタル証明書やE-ラーニング等の機能開発も予定しております。また、マーケティングや広告機能等を搭載した企業向けのサービス展開も予定しており、卒業生と企業の繋がりを支えていく予定です。



ALUPA  
<https://www.jast-alupa.com/>

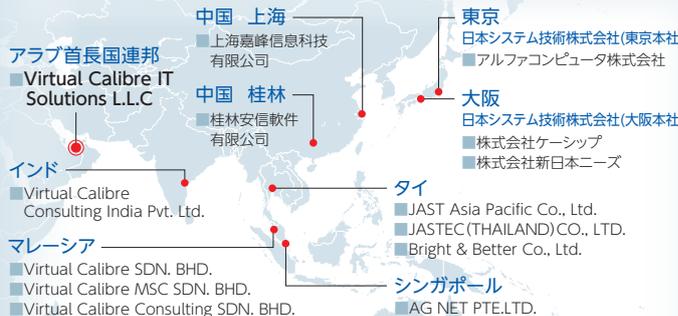


GAKUEN  
シリーズ  
<https://www.jast-gakuen.com/>



# ドバイにVirtual Calibre IT Solutions L.L.Cを設立

2024年3月、アラブ首長国連邦(UAE)のドバイに Virtual Calibre IT Solutions L.L.C を設立するとともに、同社を連結子会社(孫会社)化したしました(連結子会社化は2024年8月)。当子会社である Virtual Calibreグループは、SAP製品のBPOビジネス、導入及びサポートビジネスに特化しております。また、国営エネルギー産業を中心に大手企業を顧客とし、堅実な利益体質を堅持しながら、ASEAN全域、南アジアへのビジネス基盤を拡大してきました。この度、中東圏屈指の経済都市である中心地ドバイに拠点を設けることで、中東圏を中心にSAPビジネスの進出・拡大を図り、当社グループの持続的成長をさらに加速させてまいります。



## 大阪・関西万博「大阪パビリオン」協賛について

当社は、2025年大阪・関西万博において「大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn(以下、大阪パビリオン)」に協賛しております。「大阪パビリオン」では、「REBORN」をテーマに、健康の観点から未来の新たな価値を創造する様々な取り組みが行われます。当社は、「未来を、仕掛ける。」をスローガンに、様々な社会貢献事業を展開しております。健康観点では、保険者向けトータルサービス「JMICS」を中心とした医療ビッグデータ事業に注力し、独自に保有するレセプトデータを活用したメディカルビッグデータ「REZULT」を基に、産学官連携で様々な研究調査を実施しております。今年度は「先発医薬品(長期収載品)の選定療養化に関する事前影響調査」等、複数のレポートを公開しておりますので、是非ご確認いただけますと幸いです。今後もITで未来社会の新たな価値創出に寄与できるよう邁進してまいります。

※2024年10月施行 先発医薬品(長期収載品)の選定療養化に関する事前影響調査  
<https://www.jast.jp/seminar/20909/>



日本システム技術株式会社は大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」のオフィシャルパートナーです。



Osaka  
Healthcare  
Pavilion  
Nest for Reborn



未来を、仕掛ける。

### 会社概要

[2024年9月30日現在]

社名	日本システム技術株式会社 Japan System Techniques Co., Ltd.(略称JAST)
本社	〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー29階
設立	1973年3月26日
資本金	15億3,540万円
従業員数	1,142名(連結1,785名)

### 役員

[2024年9月30日現在]

代表取締役社長	平林 武昭
取締役 副社長執行役員	伴 浩明
取締役 常務執行役員	土屋 祐二
取締役 常務執行役員	六車 千春
取締役 上席執行役員	平林 卓
社外取締役	細江 浩
社外取締役	秋葉 俊幸
社外取締役	高 永東
取締役 常勤監査等委員	藪下 昌巳
社外取締役 監査等委員	最上 次郎
社外取締役 監査等委員	町田 美紗

### 株式の状況

[2024年9月30日現在]

発行可能株式総数	64,000,000株
発行済株式の総数	24,836,920株 (注)自己株式10,368株を含んでおります。
株主数	2,863名

### 大株主

[2024年9月30日現在]

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ジャスト	5,800,400	23.36
BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	4,664,400	18.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,201,100	8.87
日本システム技術従業員持株会	1,835,260	7.39
INTERACTIVE BROKERS LLC	1,641,600	6.61
平林 卓	557,280	2.24
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	538,800	2.17
平林 武昭	388,300	1.56
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	306,000	1.23
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	261,500	1.05

(注)持株比率は自己株式(10,368株)を控除して計算しております。



### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
受付時間 9:00-17:00(土日休日を除く)  
(住所変更、単元未満株式の買取等については株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。)

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

ホームページ <https://www.jast.jp/>(日本語) <https://www.jast.jp/en/>(英語)

証券コード 4323

**JAST** 日本システム技術株式会社  
Japan System Techniques Co., Ltd.

東京本社:〒108-8288 東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル27階  
大阪本社:〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー29階

